

安全な道路環境をめざして—16—  
**SAFETY FOCUS**

# クルマの流れが速く、側道からの合流が付近にある交差点

山梨県「中小河原」交差点

「SAFETY FOCUS」は、Honda が公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUS エリア」(下記参照)に取り上げるのは、山梨県内で4人の方が「みんなの意見」を投稿している「中小河原」交差点だ。

ここには、スピードが出ているクルマが多いなどの投稿が寄せられている。また、この場所では、平成27年中に四輪車対四輪車の事故が5件、四輪車対自転車の事故が2件、四輪車対二輪車の事故が1件発生している。

●この地点で発生した事故件数

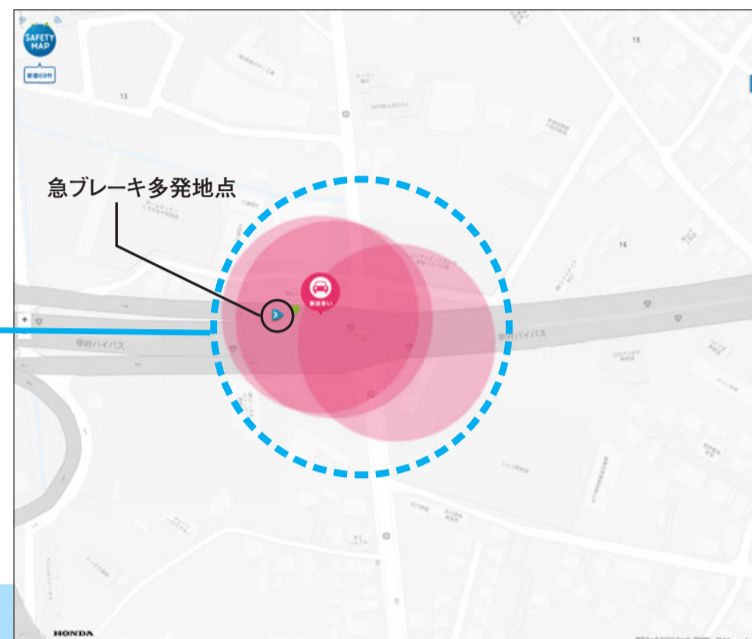
四輪車対四輪車	追突	4件
	出会い頭	1件
四輪車対二輪車	出会い頭	1件
	出会い頭	1件
四輪車対自転車	左折時	1件

※平成27年中 山梨県警察提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

スピードが出ているクルマが多い	2人
見通しが悪い	2人

※平成28年9月30日時点



## 現場をたずねる

FOCUS エリア  
山梨県甲府市「中小河原」交差点

今回訪れた「中小河原」交差点はJR甲府駅から南へ約4kmの場所にある。東西に抜ける国道20号と甲府市街を南北に抜ける県道29号(伊勢通り)が交わる場所だ。また国道20号と平行する生活道路が北側にあり、交差点に接続している。付近には家電量販店や大型家具店、県立高校があり、1日を通して交通量が多い。

現場を訪れた平日朝7時の国道20号は、大月方面・葦崎方面とも交通量が非常に多く、交通の流れが速い印象を受けた。Aから走行するドライバーが最も注意を払うのは、交差点の20m程手前にある側道との合流地点(★)だ。通勤時間帯は交通量が多いため、国道20号への合流車両はすべて停止線の手前で一時停止し、目視で右後方を確認し、慎重に合流していた。しかし、国道を走行するクルマがA→B、C→Dに左折する際は、見通しが良いせいか十分な減速を行わずに曲がるクルマがしばしば見られた。

一方、Dから交差点に向かうクルマは朝7時以降、慢性的に渋滞していた。片側1車線道路のため、交差点内に右折待ち車両が4台以上溜まると、後続の直進または左折車両が通行するスペースがなくなってしまうからだ。

Bの交差点入り口付近には生活道路があり、県道29号の停止線手前に接続している。抜け道として利用されており、赤信号待ちの際に横断歩道上で停車する場面が多く見られた。



十分な減速を行わず、国道から県道に左折するクルマ。ゼブラゾーンに進入している



Aから左折専用レーンに進入する車両と側道からの合流待ちの車両が接近する様子。発進タイミングを誤れば事故につながりかねない



右折車両が交差点内に溜まると、後続の直進・左折車両の通行スペースがなくなってしまう



横断歩道上に停車して信号待ちをするクルマ

### 限られた時間帯に集中する歩行者・自転車利用者

「中小河原」交差点の近くにはJR身延線甲斐住吉駅があり、朝8時頃は県立高校に向かう生徒が歩道や路側帯に溢れかえっていた。歩行者だけでなく自転車利用者も多いが、状況によっては歩行者がクルマの通過を待つ場面があった。ドライバーは歩行者・自転車利用者を優先した通行を常に意識しなければならない。

観察時に小雨が降る時間帯があったが、中学生・高校生の自転車利用者はレインコートを着用し、傘さし運転は観察中1人も見られなかった。高校生でもヘルメットを着用している生徒がいるなど、安全意識の高さがうかがえた。



### 通勤時間帯以外も一時停止と安全確認を

★の側道から国道20号の合流地点には一時停止の標識がないが、通勤時間帯はすべてのドライバーが安全のために一時停止して目視で右後方を確認している。しかし、国道20号の交通量が減った9時以降は、一時停止をせず合流するクルマが見られるようになった。交通量が減ったことで国道20号の交通の流れは速くなっている。側道から合流するクルマとの速度差が大きくなるので、一つ間違えば大きな事故につながる可能性が高い。側道から急にクルマが出てくることによって、国道20号を走行するクルマが急ブレーキをかけることもあるだろう。一時停止の規制を設け、交通量の少ない時間帯でも一時停止と安全確認を徹底させるほうがより安全ではないかと思われた。

山梨県警察は今後、さらなる安全対策を検討していく考えだ。



ゼブラゾーンに進入しながら合流するクルマ



国道20号の交通量が減ってと止まらずに合流していくクルマが増える

## 「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!



ホンダ セーフティマップ

検索

http://www.honda.co.jp/safetymap/

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危ないと感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。